



小松マテール株式会社 IRミーティング

2023年11月2日(木)
兜町平和ビル2階 第2セミナールーム

Art in Technology
komatsumateRe

もくじ

- I. 会社概要
- II. 2024年3月期 中間決算概要
- III. 2024年3月期 業績見通し
- IV. トピックス紹介



I . 会社概要

I-1. 会社概要

業 種：繊維の染色加工技術を基盤とした素材製造業

本 社：石川県能美市浜町又167番地

営業所：東京、大阪

(ショールームは各営業所及びミラノ)

工 場：本社、美川

設 立：1943年10月8日

株 式：東証プライム市場

資本金：46億8千4百万円 (外国株主17.2%)

有利子負債 0円、利益剰余金 281億円

売上高：2022年度 354億3千8百万円

(注) ・連結子会社 国内4社、海外1社
・持分法関連企業 3社



社員数：1,063名 (連結)

生産規模：約 2億m²/年

シェア：国内シェア14%
織物では33%

I-2. 会社概要 「当社の事業概要」

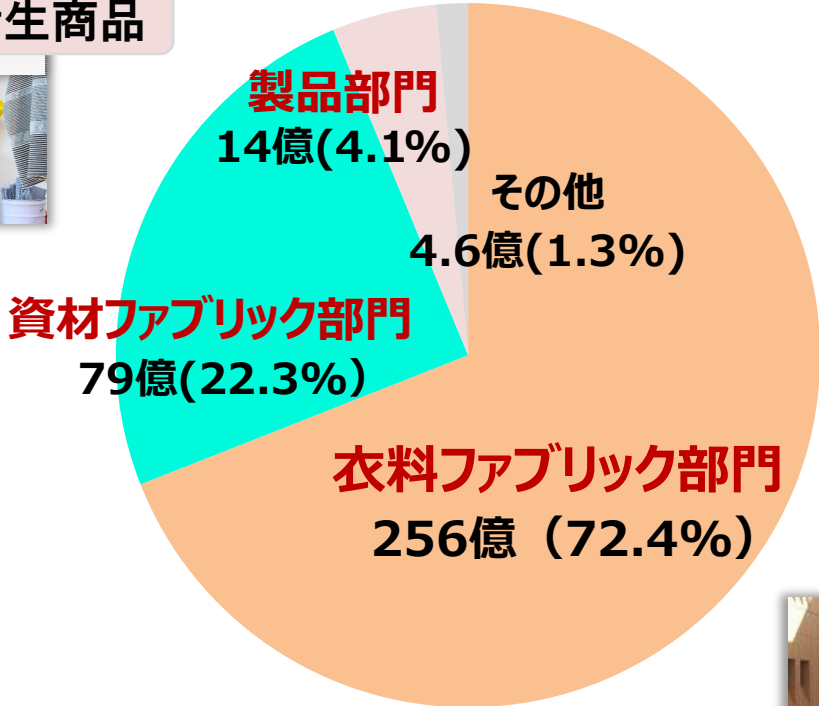
2022年度 売上高 354億円



バッグ・衛生商品

生活資材

車輛シート材



ファッション

スポーツ・ユニフォーム

中東民族衣装



小松マテールが企業活動を遂行するにあたって最も基本的な姿勢を示した
価値観であり、全ての活動の指針とするものです。

ここに掲げた三つの理念をもとに、私たちは“驚き”と“感動”があふれる
素材を創造し続ける「化学素材メーカー」を目指します。

小松マテールは

人々の感動を創造します

高度な技術と豊かな感性の融合により
驚きと感動を与える価値ある商品を
創造しよう

※本経営理念は1993年に50周年
を迎えた際に見直された

小松マテールは

地球・社会に貢献します

企業活動を通じて
地球環境の保護保全に努め
全世界の人々が
健康で快適な社会づくりに貢献しよう

小松マテールは

社員と共に成長します

社員がプロとして自らを高める進化することで
企業の成長を図ろう

“環境”は1990年代から
当社の優先課題と位置づけ



Ⅱ. 2024年3月期 中間決算の概要

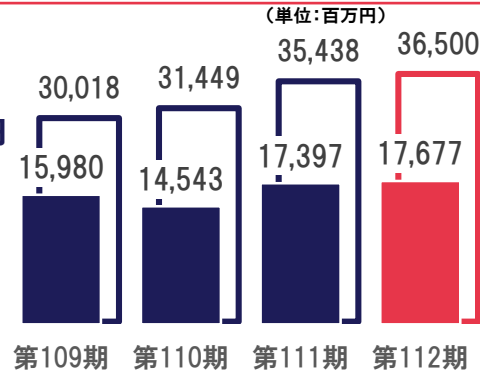
Ⅱ-1. 中間決算概要 「2024年3月期中間決算 財務ハイライト」



売上高

17,677 百万円

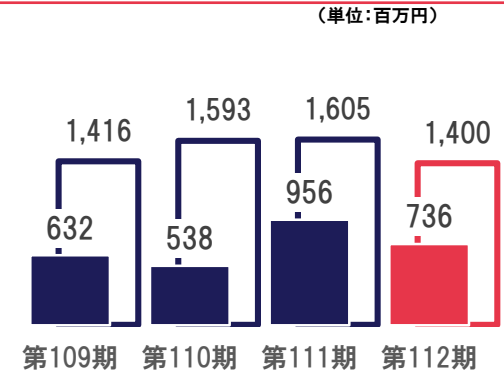
前期比
1.6%増



営業利益

736 百万円

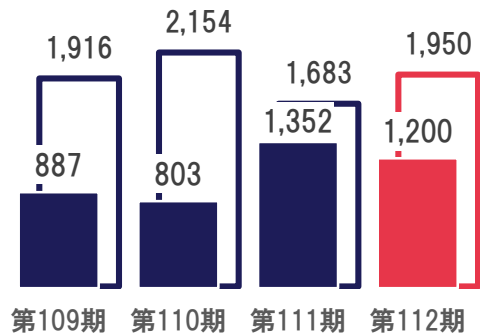
前期比
23.0%減



経常利益

1,200 百万円

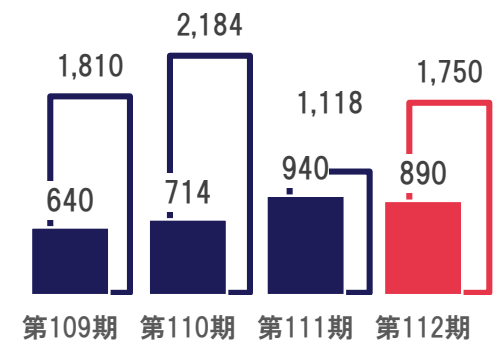
前期比
11.2%減



親会社株主に帰属する当期純利益

890 百万円

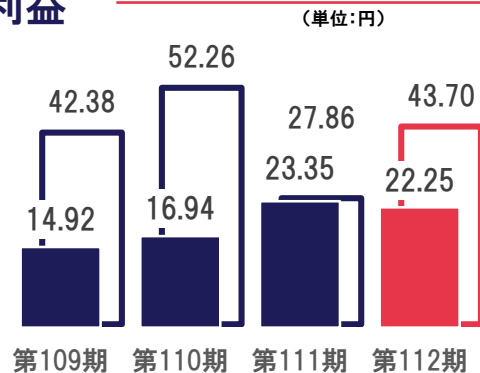
前期比
5.3%減



1株当たりの当期純利益

22.25 円

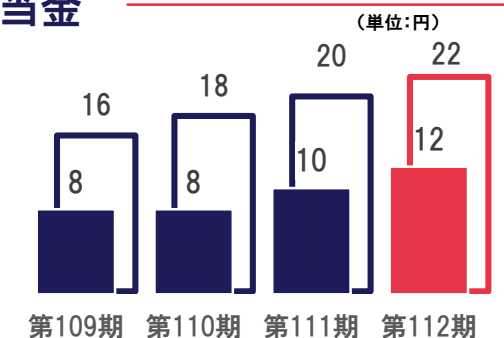
前期比
1.10円減



1株当たりの中間配当金

12 円

前期比
2.0円増



※白抜きは通期実績。112期通期については見通し値。

II-2. 「2024年3月期 中間決算概要」

(単位：百万円)

項目	2023年3月期 第2四半期実績	2024年3月期 第2四半期実績	増 減		【参考】
			金額	増減率 (%)	上期予想
売上高	17,397	17,677	279	1.6	17,500
営業利益	956	736	△219	△23.0	450
経常利益	1,352	1,200	△151	△11.2	750
親会社株主に帰属する 四半期純利益	940	890	△49	△5.3	550

一株当たり純資産	893.60円	930.67円
一株当たり当期純利益	23.35円	22.25円

期中平均為替 レート	USD	134.03円	141.06円
	EUR	138.76円	153.45円

II-3. 中間決算概要 「連結業績のセグメント別内訳」

(単位：百万円)

セグメント	売上高				営業利益			
	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減		2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減	
			金額	率 (%)			金額	率 (%)
繊維事業計	17,168	17,425	256	1.5	913	690	△223	△24.4
衣料ファブリック	12,576	12,577	1	0.0	957	698	△259	△27.0
資材ファブリック	3,777	4,085	308	8.2				
製品部門	815	763	△52	△6.4	△44	△8	36	—
その他の事業	229	252	23	10.0	43	47	4	9.3
合計	17,397	17,677	279	1.6	956	736	△219	△23.0

<コメント>

●衣料ファブリック

中東民族衣装や北米スポーツウェア、欧州ラグジュアリーが海外向けを牽引し、国内向けファッションが増加するも、北米カジュアルウェア、欧州スポーツウェアの減少により全体として堅調に推移。

●資材ファブリック

車輻分野とリビング分野が好調なことから、全体として増加。

●製品部門

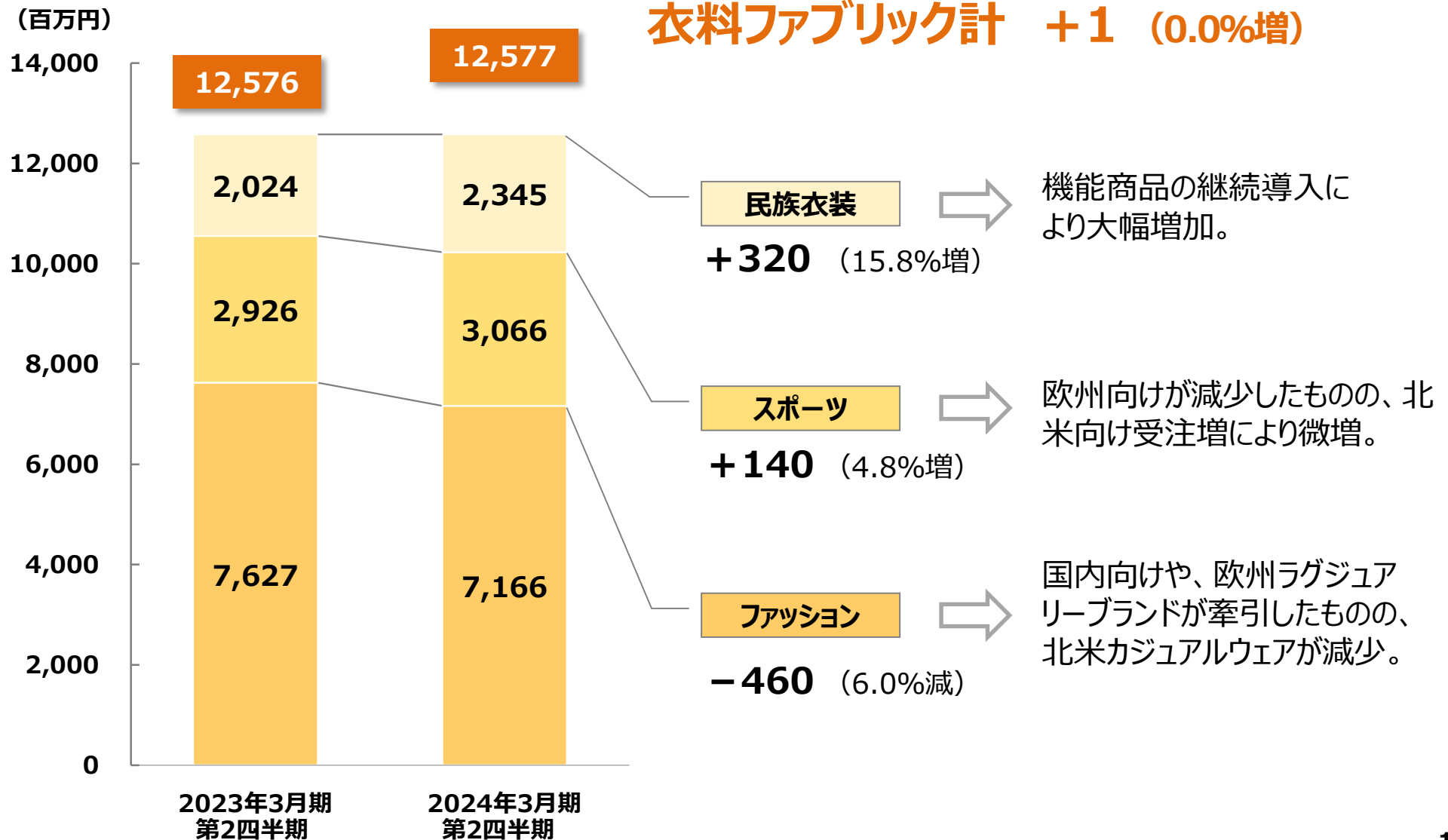
自社製品ブランドの市場への浸透を図るも、ユニフォームを中心とした商品事業が減収。

Ⅱ-4. 中間決算概要 「繊維事業（衣料ファブリック部門）」



(単位：百万円)

衣料ファブリック計 +1 (0.0%増)

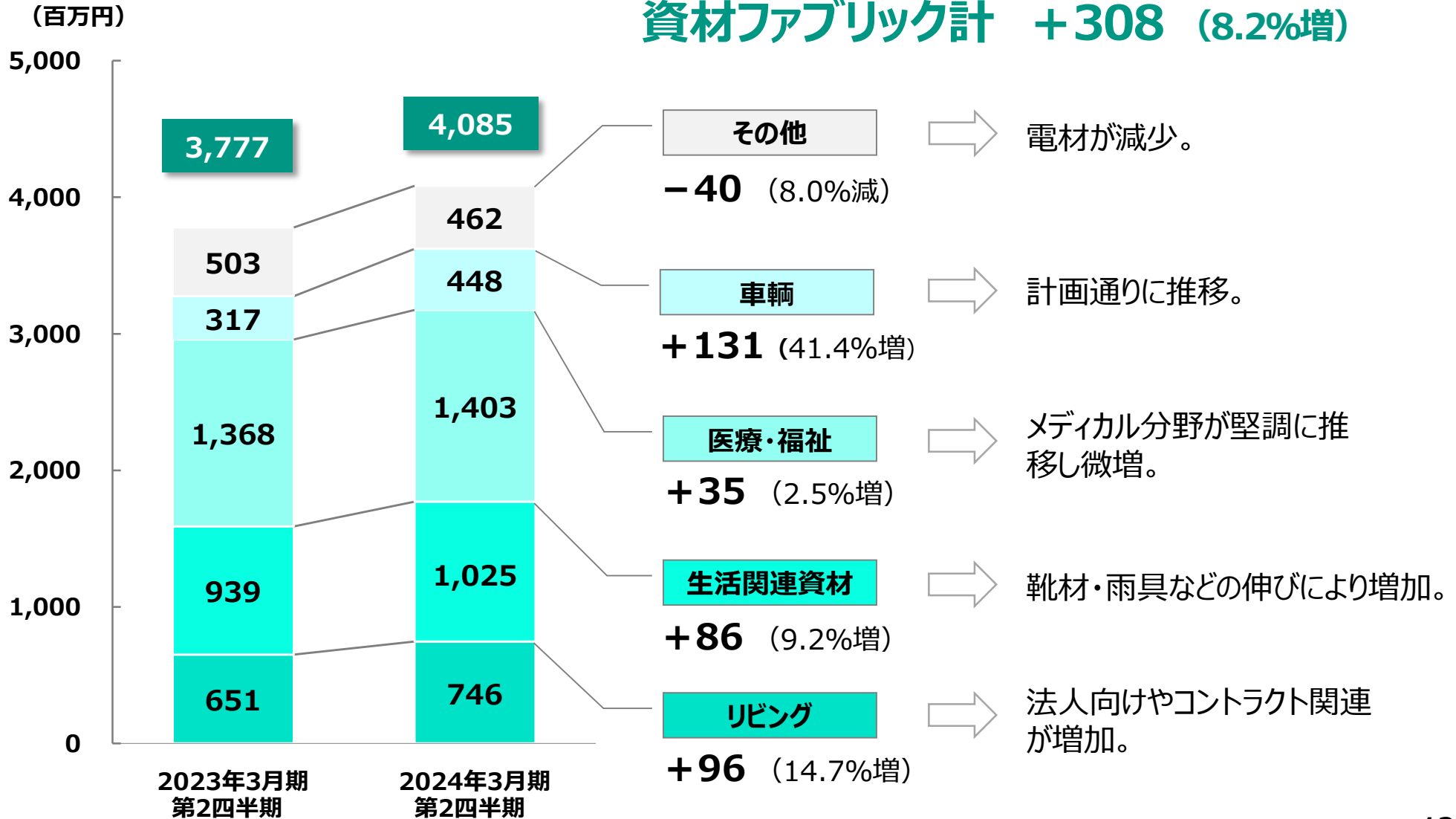


II-5. 中間決算概要 「繊維事業（資材ファブリック部門）」



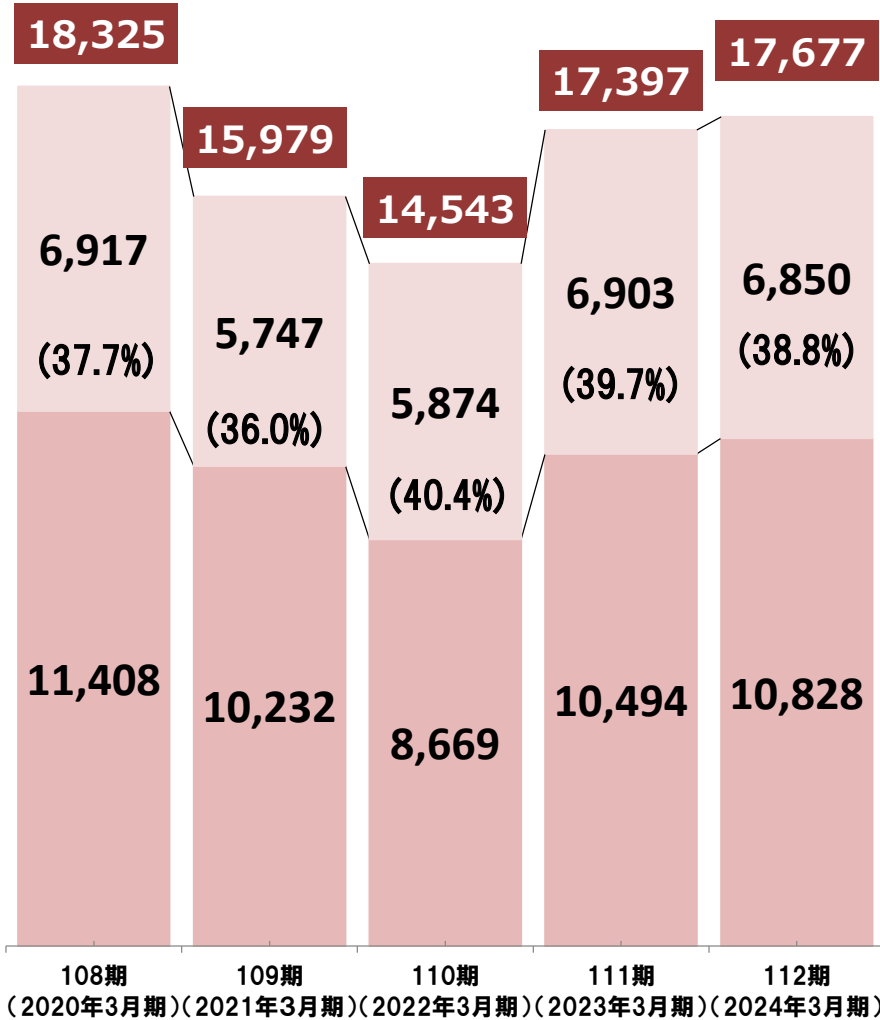
(単位：百万円)

資材ファブリック計 +308 (8.2%増)

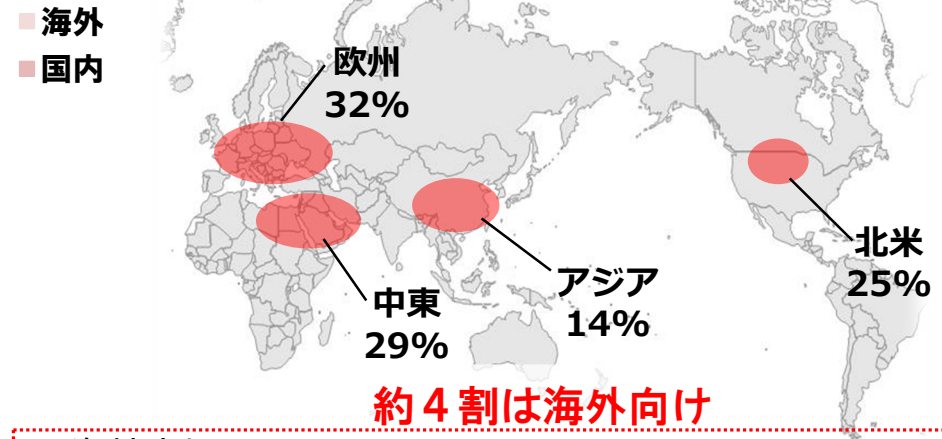


II - 6 . 中間決算概要 「市場別売上高（国内・海外）」

(単位：百万円)



	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減額	増減率 (%)
欧州	2,224	1,983	△240	△10.8
北米	1,770	1,570	△200	△11.3
アジア	971	1,051	79	8.2
中東	1,938	2,246	308	15.9

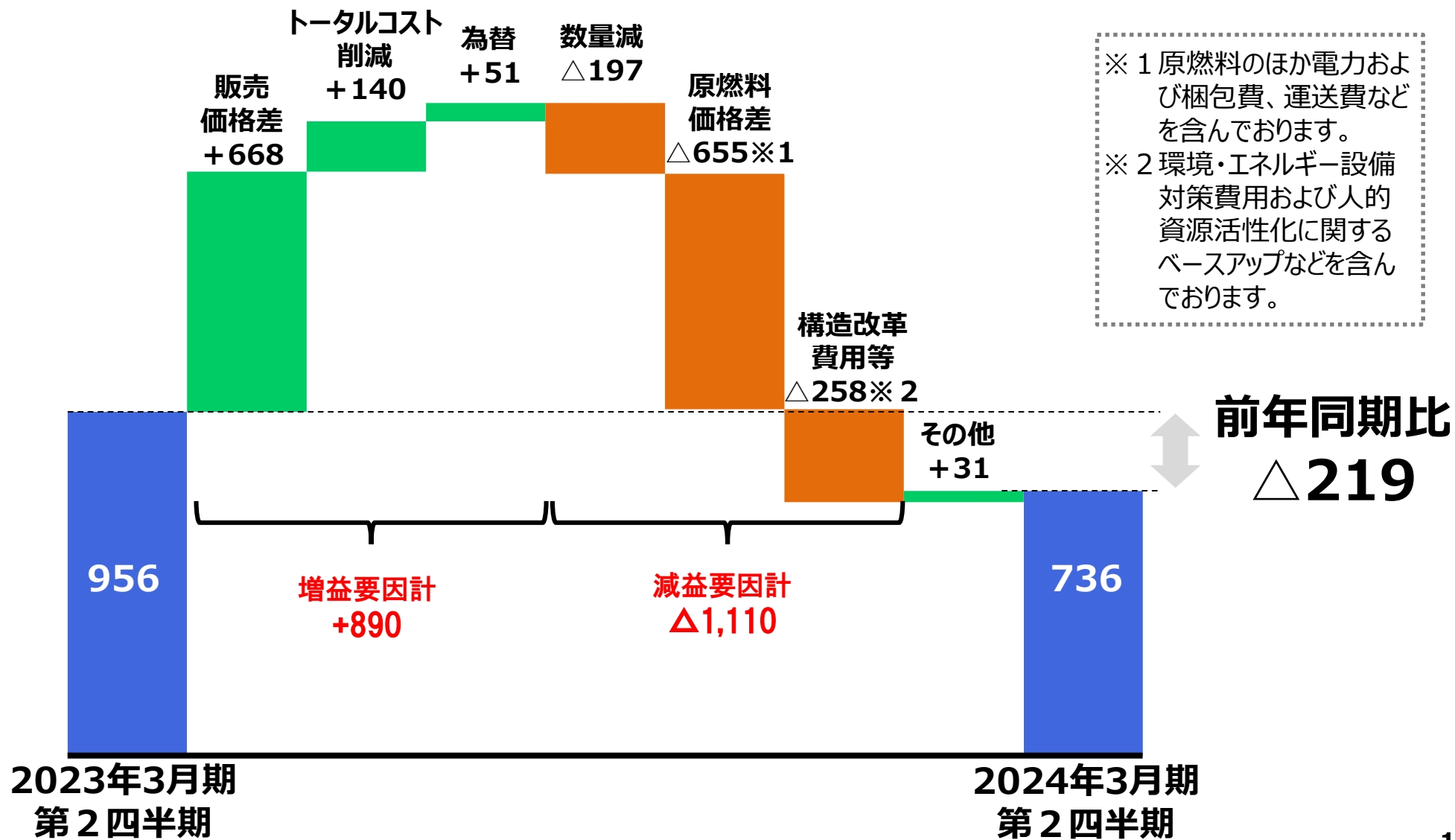


- 海外市場
 - <欧州> ラグジュアリーブランド向け増注も、スポーツ分野が減少。
 - <北米> スポーツウェアが好調も、カナダ向けのファッション分野が減少。
 - <アジア> 韓国向けファッション分野が増加。
 - <中東> 機能商品の継続導入と受注増により大幅増加。
- 国内市場
 - ファッション、車輛分野を中心に堅調に推移し微増。

Ⅱ-7. 中間決算概要 「営業利益増減分析」



(単位：百万円)



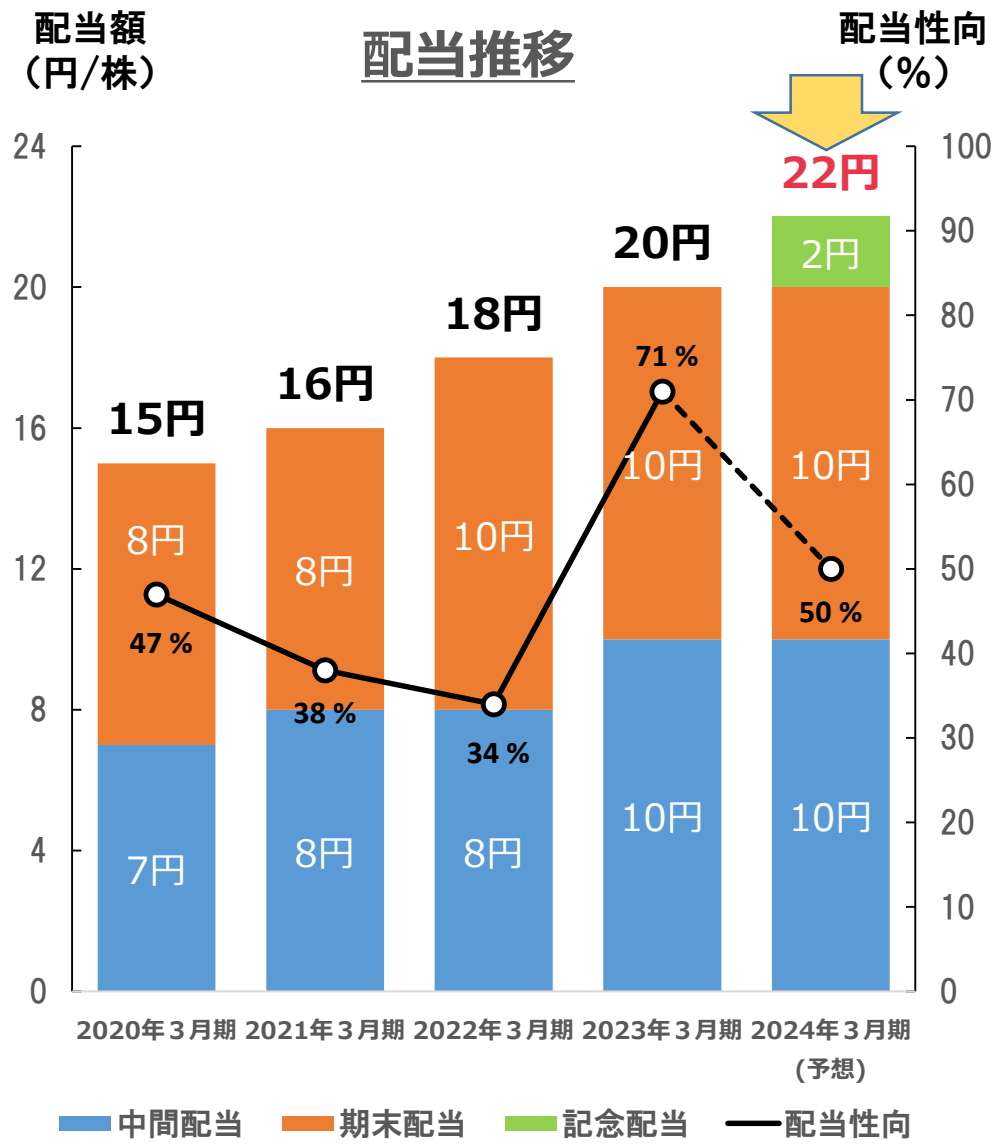
- ※1 原燃料のほか電力および梱包費、運送費などを含んでおります。
- ※2 環境・エネルギー設備対策費用および人的資源活性化に関するベースアップなどを含んでおります。

II-8. 中間決算概要 「剰余金の配当について」

【当社配当基本方針】

- ◆ 株主に対する利益還元を重要課題のひとつとし、安定的な配当を継続的に行います。
- ◆ 配当性向は当期純利益の30～50%を目安としております。

- **今期中間配当は、**
前期比 **2円増配の**
1株当たり12円といたします。
(普通配当10円、記念配当2円)
※配当性向は 53.9%となります。
※中間配当金の総額：482,567,892円
※剰余金の配当が効力を生ずる日：
2023年11月30日(木)
- **期末配当金額予想は、**
当初予想どおりと1株当たり10円としています。
年間配当額は前期比2円増配の
1株当たり22円を予定しております。
※通期の配当性向は 50%の予測となります。





Ⅲ. 2024年3月期 業績見通し

Ⅲ- 1. 「2024年3月期 業績見通し」

(単位：百万円)

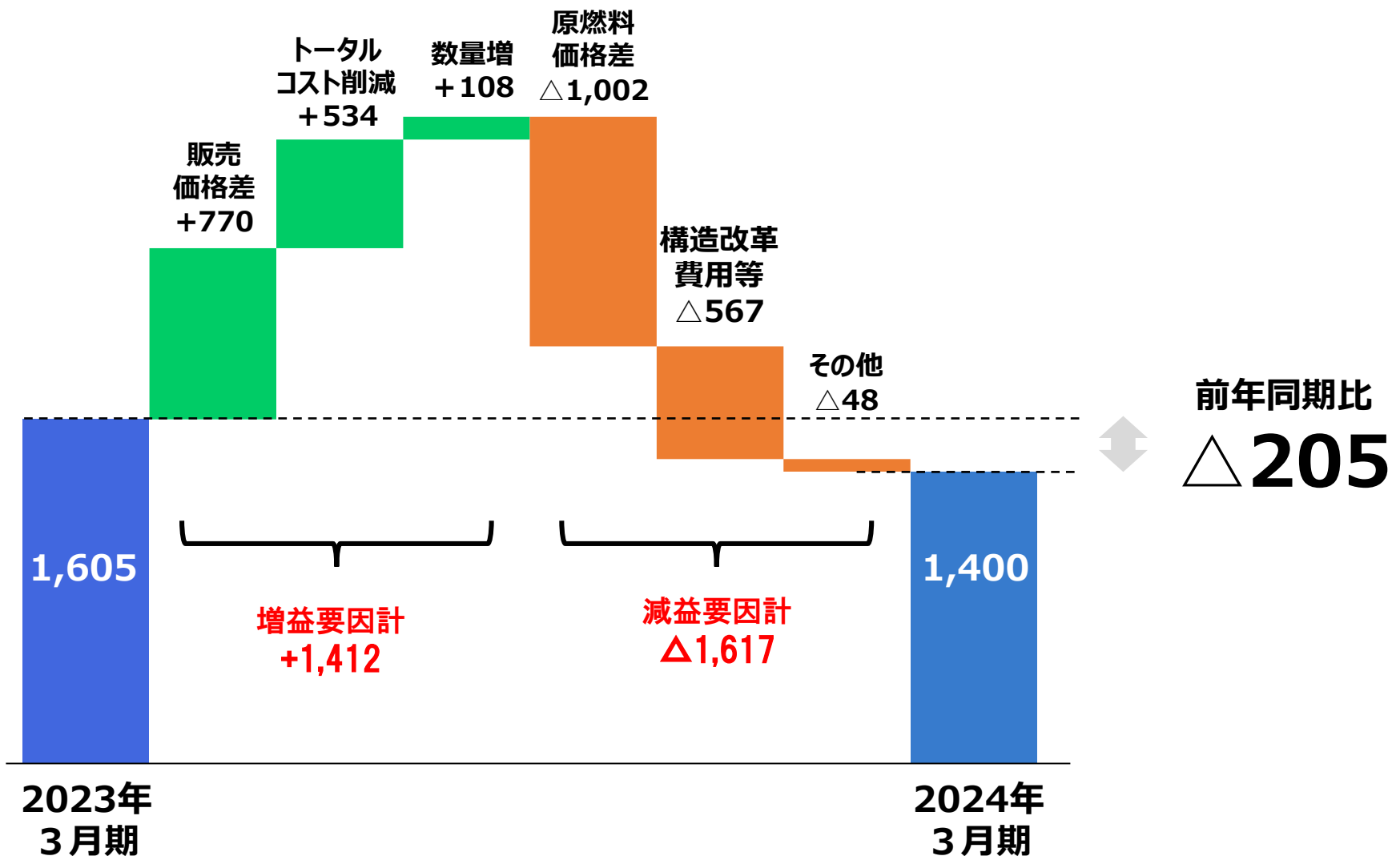
項目	2023年3月期 通期実績	2024年3月期 通期予想	増減（通期比較）	
			金額	増減率（%）
売上高	35,438	36,500	1,062	2.9
営業利益	1,605	1,400	△205	△12.7
経常利益	1,683	1,950	267	15.8
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,118	1,750	631	56.4

一株当たり当期純利益	27.86円	43.70円
------------	--------	--------

期中平均 為替レート	USD	135.50円	125円
	EUR	140.99円	135円

※当期見通しについては2023年5月9日公表の業績予想から変更ありません。

Ⅲ-2. 業績見通し 「2024年3月期 営業利益増減分析」



Ⅲ-3. 業績見通し「対処すべき課題」

① 持続可能な社会の実現に向けた環境配慮への取り組み

- 「小松マテレ・サステナビリティ・ビジョン(KSV)」に掲げられた5つの課題への取り組みを加速させる。地球環境に関わる課題については、社会・顧客のニーズに応えるべく、集中的に取り組む。
- “mateReco”の売上比率を2030年度には全体の50%程度にまでの拡大を目指す。
- 「CABKOMA」、「グリーンビズ」をはじめとする先端材料・技術を活用した防災・減災事業の拡充や、地球環境保全に役立つ技術開発を通じて社会貢献を図る。

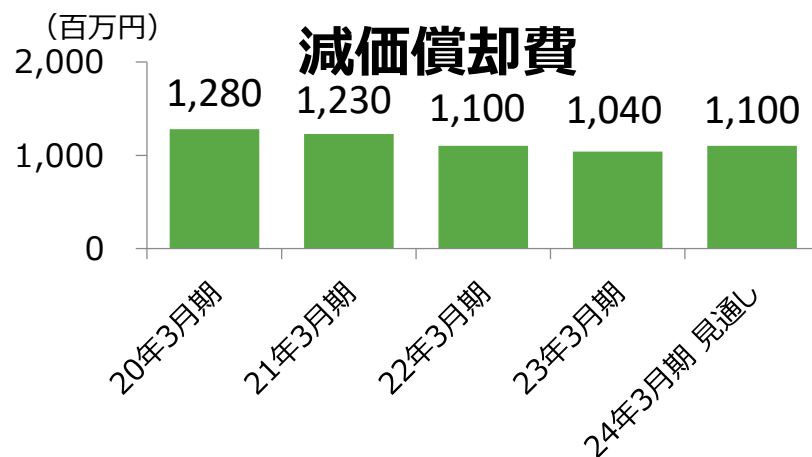
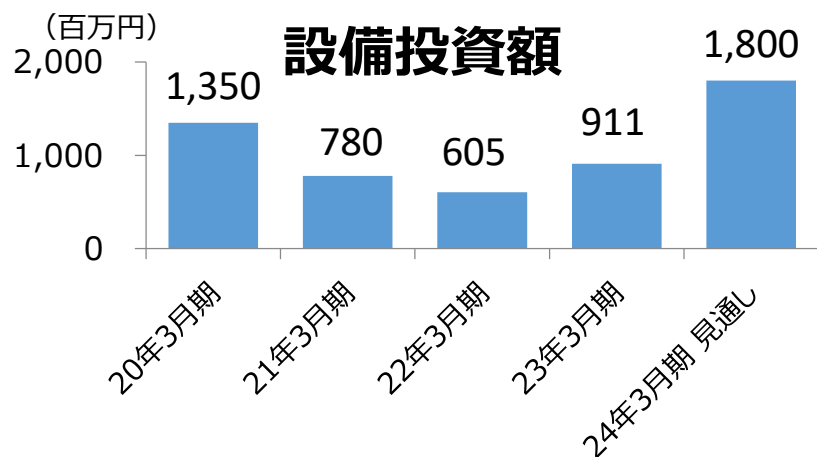
② 海外への事業拡大と開発体制の強化

- 海外売上高の拡大を目標に掲げ、海外でのブランディング向上及び、アジア・欧米諸国における新規市場開拓を続け、その実現に向け国内外の業務提携企業とさらなる関係強化を図り、海外市場への事業展開を推し進める。
- 営業主導の「戦略的マーケティング」および目的・対象を明確にした「攻略型マーケティング」を強化するため、生産・販売・技術開発が一体となった、強力かつ全社横断型の開発体制を強化する。

③ コストアップへ対応するための収益構造の改善

- 付加価値の高い新商品を投入し、販売価格へ転嫁することで収益確保を目指し、引き続き、新商品の開発や新たな事業展開を進める。
- 排熱回収によるエネルギーの有効利用や高効率設備導入による電気使用量の削減、低エネルギー加工工程技術の適用拡大、生産部門のみならず事業部門における業務効率の向上へ向けたシステムの高度化による、トータルコスト削減を強化する。

Ⅲ-4. 業績見通し 「設備投資額・減価償却費推移」



設備投資額 内訳

(単位：百万円)

項目	2023年3月期 実績	2024年3月期 見通し
製造関連投資	313	330
開発関連投資	11	80
環境関連投資	355	670
システム関連投資	156	240
その他	76	480
合計	911	1,800



IV. トピックス紹介

1. 環境配慮商品群「マテレコ」の拡大展開状況
2. 炭素繊維複合材料「カボコーマ」の新用途開拓
3. 排水汚泥削減パイオ製剤技術「ベリフォーマー」の事業化展開
4. Spiber社との共創パートナーシップ体制構築の取組み
5. 東京・南青山に「青山ショールーム」をオープン
6. 金沢ひがし茶屋街にショップ「まてーれ」をオープン

第3フェーズへ

2021年6月 小松マテレ・サステナビリティ・ビジョン(SDGs)をキックオフ

『私たちは、独自の加工技術・先端素材の提供など、事業活動を通して、地球・社会的な課題解決に貢献します』

2021年に、これからの**持続可能な社会の実現(SDGsの実践)**のため『小松マテレ・サステナビリティ・ビジョン』として、2030年に向けて次の**5つの項目の取組を開始**

持続可能な社会の実現に向けて(SDGsの実践)



①気候変動対策



②循環型社会づくり貢献



③人々の感動の創造



④防災・減災への取組



⑤地域貢献と社員の成長

IV-1. トピックス紹介「環境配慮商品群「マテレコ」の拡大展開状況」

小松マテール・サステナビリティ・ビジョンにおける環境行動目標・実績 【ポイント】

1. 事業環境変化による生産量増減も想定し、**目標は原単位ベース**で目標設定
2. **CO2削減目標**は、2021年4月気候サミットで日本が表明した**踏込んだ目標(46%)に変更**
3. 販売を通じた環境貢献として、**環境配慮型商品の売上高比率**の目標を設定

目的	項目	目標		実績
		達成目標 2030年度	比較基準年度 2013年度	2022年度
1.気候変動対策	温室効果ガスの削減 CO ₂ 重量原単位	▲46%	4.74t-CO ₂ /t	▲21%
2.循環型社会づくり	水の削減 水重量原単位	▲25%	275m ³ /t	▲24%
	廃棄物の削減 廃棄物重量原単位	▲70%	0.190t/t	▲72%
	廃棄物のリサイクル率 (埋立処理削減)	98%	99.6%	99%
	有機化学物質の削減 揮発有機溶剤(VOC) 使用量重量原単位	▲30%	0.96t/t	▲24%
	撥水加工の非フッ素化推進 非フッ素比率	50%	6.6%	32%
3.人々の感動の創造	環境配慮型商品 (mateReco) の 拡大(売上比率)	50%	10.0% ※2019年度	24%

4.防災・減災への取り組み	社会インフラの長寿命化 豪雨からの安全確保
5.地域社会と社員の成長	地域環境整備貢献 社員の健康・安全な職場づくり

IV-1. トピックス紹介「環境配慮商品群「マテレコ」の拡大展開状況」

環境配慮型素材の
総合ブランド



MATERIAL
原料

環境に優しい
原料を使用

PROCESS
工程

環境負荷の
少ない製造工程

PRODUCT
製品

サステナブルな
素材・製品

素材例

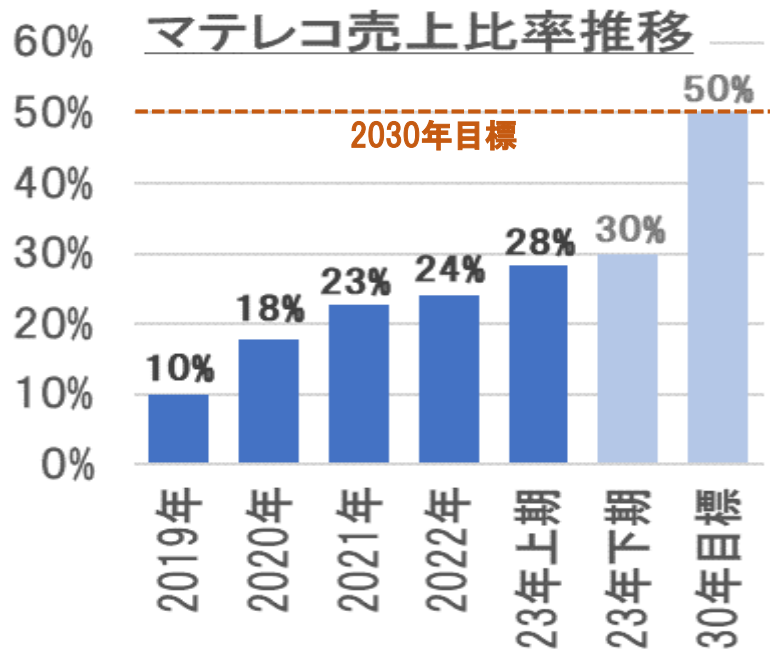
タントツオチール™

汚れ除去スピードが3倍速くなることで、洗濯・乾燥時間や洗剤使用量を削減



WS™ (ナイロン版)

染色工程のCO₂を大幅に削減するWSの技術をナイロンへも展開



IV-2. トピックス紹介「炭素繊維複合材料「カボコーマ」の新用途開拓」



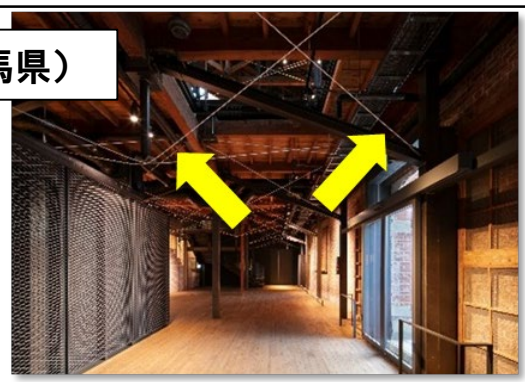
熱可塑性炭素繊維複合材料

CABKOMA® (カボコーマ)

軽い、強い、錆びない等、
炭素繊維の高い性能を生かした素材。
耐震補強材のほか、様々な資材に応用。

2019年 耐震補強引張材用「炭素繊維複合材より線」JIS制定
2022年11月 産業標準化事業表彰「経産大臣表彰」を受賞

■ 施工事例 (耐震補強)



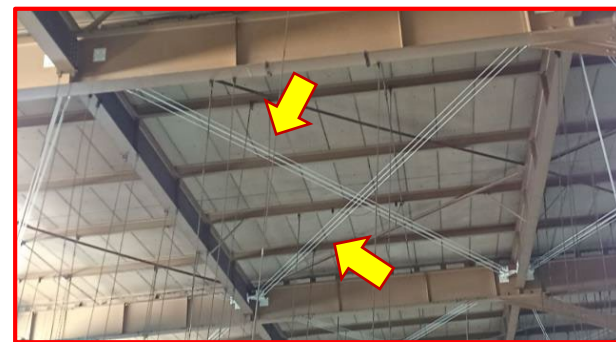
IV-2. トピックス紹介「炭素繊維複合材料「カボコーマ」の新用途開拓」

熱可塑性炭素繊維複合材料

CABKOMA[®]
(カボコーマ)

■ 施工事例（耐震補強）

- ・ 当社第2工場（天井）



◎ 新たな用途展開

本素材は高強力で軽量の特徴(性能)を活かして、大型鉄骨建屋補強の新工法を実証施工を実施中である

◎ メリットは軽量で人手で取扱性ができる

- ・ 既存の工場建屋を設備稼働しながら補強工事可能
- ・ 工事費や設備移設に関わる費用が大幅に節減可能
- ・ 旧耐震対応建屋を新耐震法に耐える耐震性に補強が可能

◎ 新工法認定の取得

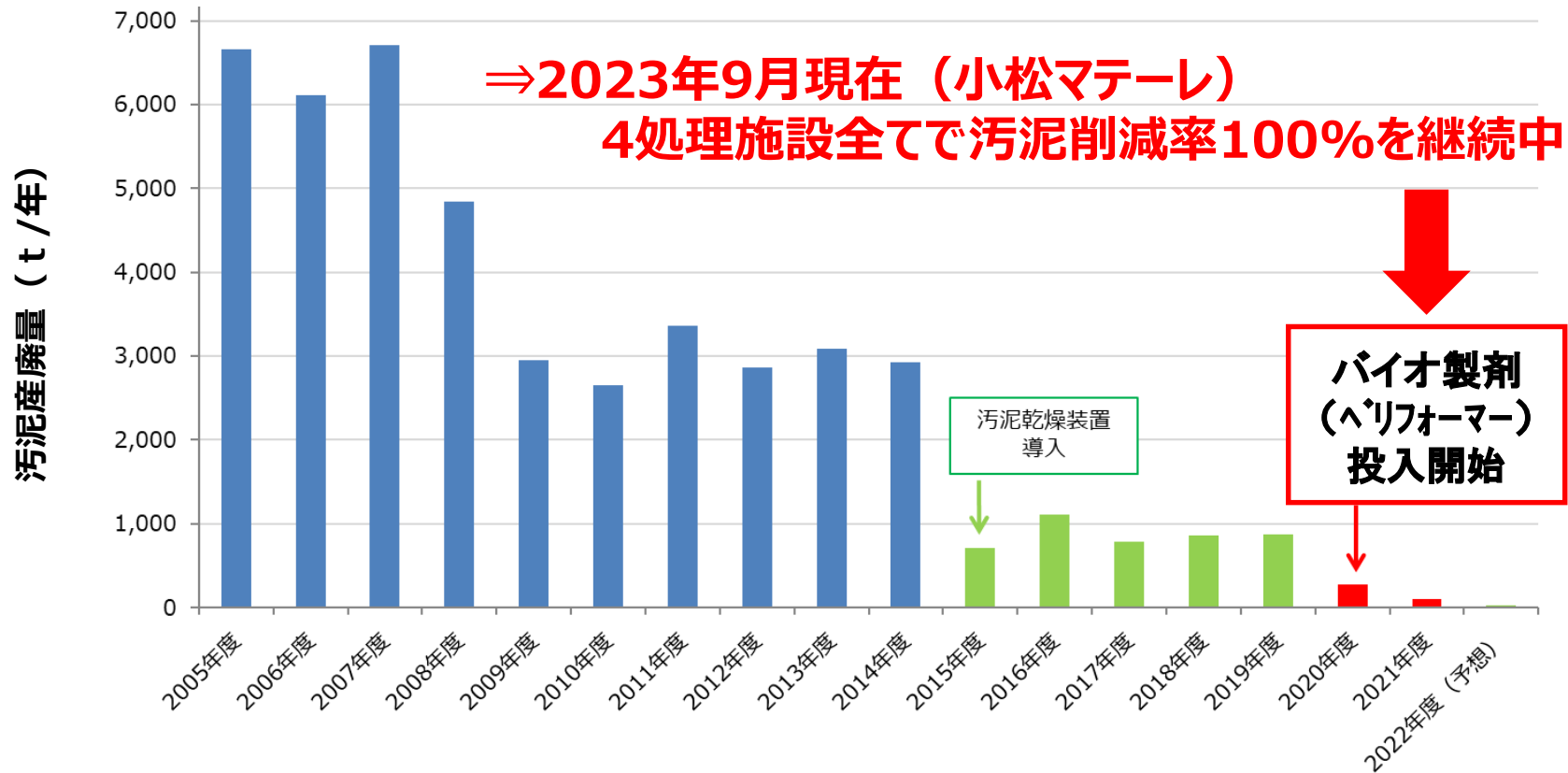
- ・ 構造設計事務所、大手建設業者およびアカデミアと連携して、現在の実証施工データ取得を進め、新工法として認定取得を目指している

また、来年には欧州のラグジュアリーブランドの複数の直営店（海外含む）において採用予定。

IV-3. トピックス紹介「排水汚泥削減パイオ製剤技術「ベリフォーマー」の事業化展開」

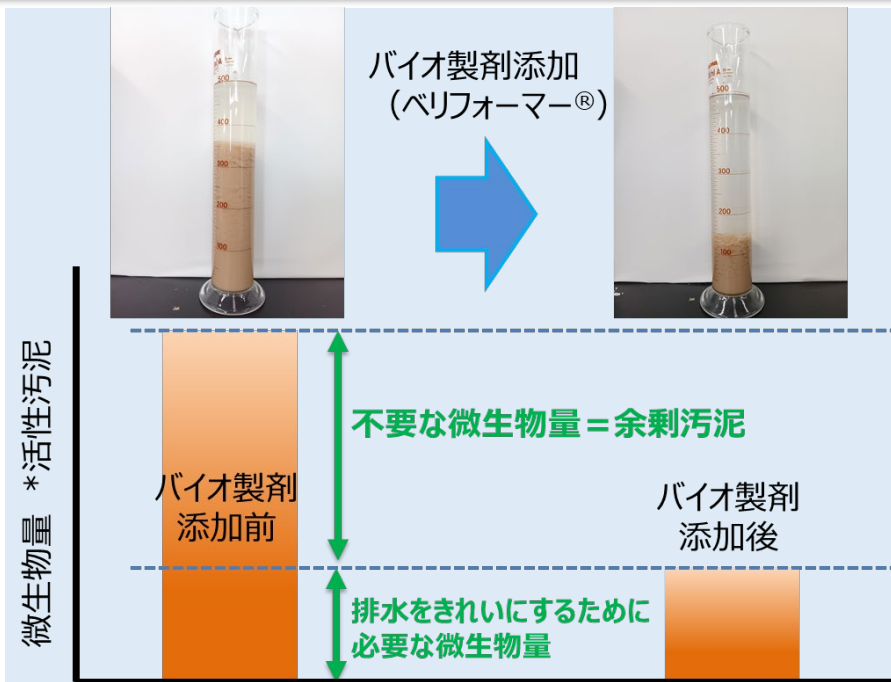
汚泥産業廃棄物 削減結果(実績)

- ・当社は排水処理において発生するは排水汚泥を大幅に削減する技術を開発
- ・汚泥は有機物を分解する細菌の細胞膜であり、これを分解する酵素を産出するパイオ製剤を共同研究
- ・当社での実績はグラフのとおり、過去に年間6000トンの汚泥が発生したが、この2年間はゼロで推移



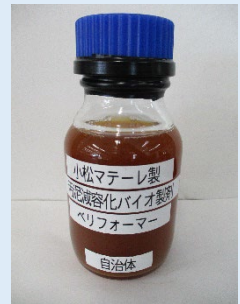
今年の4月に産業経済紙に掲載され、現在、事業化を推進中

IV-3. トピックス紹介「排水汚泥削減バイオ製剤技術「ベリフォーマー」の事業化展開」



5 大メリット

- ・汚泥処理費用 最大40%削減！
- ・廃棄物を大幅に削減！
- ・設備の追加・改造が不要！
- ・化成品不使用！
- ・処理水質良化！



ベリフォーマーの事業開発進捗状況

- ・地元自治体、民間企業で採用。
採用実績 7件 (*2023年10月現在)
- ・実証試験案件が急増
他に大都市を含めた自治体・民間企業で18件の案件が進行中
⇒ 排水処理機器・設備メーカー数社と事業連携を進め、事業拡大を目指す。

【採用例】

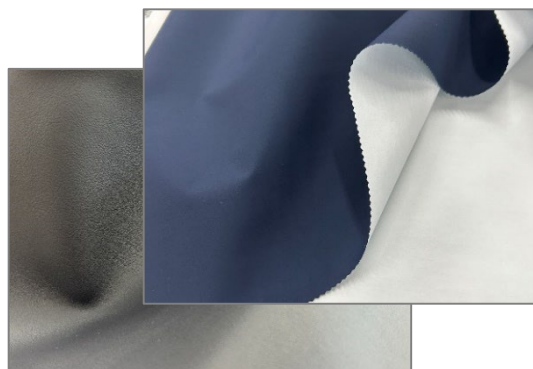
近隣自治体の5施設で採用
大手食品メーカーにて採用決定
→ グループ国内、海外工場への展開へ

IV-4. トピックス紹介「Spiber社との共創パートナーシップ体制構築の取組み」

このたび、Spiber株式会社と小松マテール株式会社は、サステナブルな社会の共創をテーマに、両社がこれまで培ってきた技術及び知識を発揮し製品開発をめざす、共同事業をスタートさせました

※Spiberと小松マテールは2015年よりタンパク繊維に高次加工を施す共同開発を通じて取組みを進化させてきた

komatsumateRe



透湿防水膜・合成皮革
の独自加工技術

+

(融合)

Spiber



人工構造タンパク質
「Brewed Protein™」の
設計・製造技術

新たな
ビジネスモデルの創出

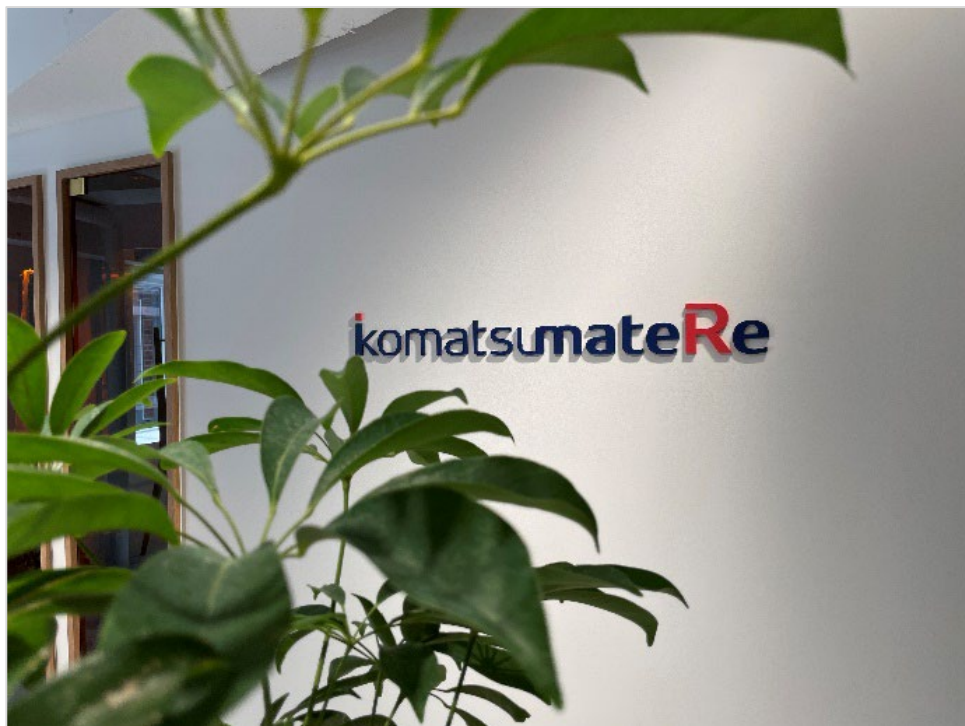
両社の強みを活かし
石油資源に依存しない
究極のバイオ100%の
環境対応加工技術
および製品開発に取り組む

画期的な技術基盤と成長基盤の確立を目指し、
中長期的な開発の継続と関係強化を相互(両社)に確認

【今後の予定】

小松マテールからSpiber社への出資および具体的な業務提携の内容を早期に取り纏め
「共創パートナーシップ体制構築」のための契約を締結します

IV-5. トピックス紹介「東京・南青山に「青山ショールーム」をオープン」



当社創立80周年の節目に際し、2023年11月1日（水）、東京・南青山に「青山ショールーム」をオープンいたします。

東京初となる旗艦ショールームにおける立地を生かした新たな営業戦略により、さらなる営業力の強化を図ってまいります。



◀プレゼンテーションルームでは、過去のアーカイブから定番商品や最新素材までの生地サンプルを500点以上用意し、お客様のニーズに沿ったご提案をいたします。



◀ショールーム1階では、BtoCに向けた当社のオリジナルブランド「mate-mono（マテモノ）」の商品を展示しております。

IV-6. トピックス紹介「金沢ひがし茶屋街にショップ「まてーれ」をオープン」



小松マテールブランドのさらなる拡大を目指し、新店舗「まてーれ」を、石川県金沢市の代表的な観光地である東山に2023年6月にオープンいたしました。



天女の羽衣



g-cube



「まてーれ」では、当社が創業80年で培った繊維加工の技術をベースに、石川県の伝統の文化を組み合わせたファッション・生活雑貨を中心とするアイテムを展開しております。



Art in Technology

komatsumateRe

小松マテール株式会社